

| | | | |
|-------|---------------------------|-----|---|
| 対象クラス | 2年 ビジネス情報科 (ソフトウェア活用類型) | 単位数 | 3 |
| 使用教科書 | 商業 359 電子商取引 新訂版 (東京法令出版) | | |
| 使用副教材 | なし | | |

「電子商取引」はこんな科目です。

情報通信技術の進歩とビジネスについて学び、電子商取引におけるコンテンツの制作、ウェブデザインと広告・広報およびその公開などについて学びます。また、電子商取引に関わる関係法規や情報モラルについても学びます。そして、インターネットを活用したビジネスにおいて、情報通信技術を応用することで様々な課題に適切に対処できる能力と態度を身に付けます。

科目の到達目標 (目標とする検定等)

- ・情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得します。
- ・情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解します。
- ・情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を養います。
- ・電子商取引にかかわる実践的な学習を通して思考力・判断力・表現力等を養います。
- ・課題政策の発表を通してビジネスマナーやプレゼンテーション力など、ビジネスの諸活動に必要な資質を養います。

| 評価の観点 | 評価規準・評価内容 | 評価方法等 |
|----------|--|-------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 電子商取引について、興味・関心を持って理解しようとしている。情報通信ネットワークやウェブページを関連付けながら理解しようとしている。 | 授業態度 発表態度 提出物の提出状況 |
| 思考・判断・表現 | 分かりやすい表現の仕方やコンテンツの取捨選択が身に付いている。基礎的・基本的な知識をもとにして、アイデアを創造し、的確に判断し、表現できる。 | 定期考査 レポート ウェブページ (実習成果) |
| 技能 | 電子商取引について、基礎的・基本的な知識や操作の仕方が身に付いている。情報を取捨選択することや、情報をデザインすることなど、応用的な技術が身に付いている。 | レポート ウェブページ (実習成果) |
| 知識・理解 | 電子商取引について学ぶ目的や学び方を理解している。情報通信ネットワークやウェブページについて基礎的・基本的な知識を身に付けている。社会における電子商取引の意義や役割を理解している。 | 定期考査 ノート |

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

| | 単元名 | 学習内容 | 学習活動のねらい |
|------------------|--|---|---|
| 前 期 中 間 | 第1章 情報通信技術の進歩と ビジネス 第2章 コンテンツの制作 【前期中間考査】 | ビジネスの変化 情報通信ネットワークの活用と課題 コンテンツのデジタル化とファイル形式 コンテンツの準備 | ・情報通信技術の進歩に伴い、ビジネスの形態や広告・広報活動の変化を理解します。 ・画像、動画、音声の基礎知識やマルチメディアについて学習し、目的・用途に合わせたコンテンツを取捨選択する力を身に付けます。 |
| 前 期 期 末 | 第2章 コンテンツの制作 第3章 ウェブデザインと 広告・広報 【前期末考査】 | 情報の統合 ウェブページ制作の手順 デザインの基礎 ウェブページ作成の基礎 | ・分かりやすい画面構成や配色、情報をデザインすることの意義を学習します。 ・ウェブページ制作の基礎知識を学習し、アイデアを創造、情報をデザインする力を身に付けます。 |
| 後 期 中 間 | 第3章 ウェブデザインと 広告・広報 【後期中間考査】 | ウェブページ作成の応用 | ・ウェブプログラミングやデータベースについて学習し、適切な表現の仕方を身に付けます。 |
| 後 期 期 末 | 第4章 ウェブページの公開 第5章 電子商取引とビジネス 【学年末考査】 | ネットワーク機器の種類と機能 ハードウェアとソフトウェアの導入 ウェブページの公開 電子商取引のしくみ 企業間取引と企業・消費者間取引 電子決済のしくみと方法 電子商取引システムの作成 | ・ネットワーク機器の種類や必要性を考え、ネットワーク環境の構築の仕方を理解します。 ・電子商取引のしくみについて学習し、代金・物・情報の流れを理解します。 ・電子商取引に関連するビジネスや法律について学習し、法令遵守の精神を身に付けます。 |

